

著名な神経学者である Rizzolatti らの近著「Mirrors in the Brain」の序文に、興味深い一節がある。少し長いが和訳して引用すると「……劇場監督の Peter Brook はミラーニューロンの発見について、『神経科学はついに、劇場での常識・俳優の努力は文化的・言語的障壁を乗り越えてその身体の動きを観客に分かつこと (share) ができなければ、むなしなものになるということーを理解しようとし始めた』と述べた。ミラーニューロンに関する Brook の言葉は、神経生理学以外の領域でその予想外の価値に対する多くの興味をかきたてた。芸術家をはじめ多くの者たちがミラーニューロンの虜となったが、その発見と実験的研究に関する物語についてはわずかな者が知るに過ぎない。ましてこの発見が、いかにわれわれが脳の構造と機能について理解するよすがとなるかについて、知る者は少ないのである。……」この一文の示そうとするところは、最近のニューロリハビリテーションへの関心の高まりと、さらに連続する新しい謎の深まりである。脳機能に関わる診断技術の飛躍的進歩は、神経学領域を超えてリハビリテーションへと研究の軸足を移しつつあるように見える。今号はその意味では、誠に時宜を得たものであるといつてよいのではないだろうか。

本特集「ニューロリハビリテーションと理学療法」では、第一線で活躍されている 5 名の執筆者にそれぞれの立場から解説をお願いした。渡邊論文では、脳画像診断の基礎から臨床応用について解説し、その適応と限界について、例えば fMRI では運動が制限されること、fNIRS では空間分解能が低いことなどが指摘され、研究目的に合わせた使い分けが必要であることが述べられている。金子論文では、「運動以外の介入」の中から TMS、tDCS、自己運動錯覚の応用について基礎的生理学的研究から論じている。斉藤論文では、脳卒中患者の歩行に焦点を当て、これまでの浩瀚な研究史を基に、BWSTT とロコモーションインターフェースを用いた歩行練習の成果について紹介している。森岡論文では上肢・手指の機能回復に関して知覚運動学習モデルを提示し、ミラーニューロンシステムについても論じている。阿部論文では神経画像情報の具体的な臨床例への応用が、pusher 例、thalamic astasia 例など実際の症例を提示しつつ述べられている。これらの論文はいずれも多くの情報が盛り込まれており、読み応えのあるものとなっている。

入門講座は「感染」シリーズの応用復習編である。わかりやすい Q&A 形式となっており、改めて感染予防の重要性を知ることができる。講座は「認知の最前線」シリーズ最終回で、作業療法の立場からの理論背景とアプローチが紹介され、記憶障害、認知症、失行、半側空間無視などの高次神経機能障害が取り上げられている。臨床実習サブノートでは、COPD 患者への対応と理解についてきわめて平易に解説されている。かゆいところに手が届く、とはこのことであろう。

アメリカ合衆国大統領選挙後、初めてのアフリカ系大統領の誕生という興奮の中、この原稿を執筆している。オバマ次期大統領のスローガンは「CHANGE」であった。今この時が、理学療法も経験の学から「科学」へと change できる chance なのかもしれない。

(網本 和)

理学療法ジャーナル

(第 42 巻 第 12 号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2008 年 12 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行) ☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当: 松田・吉永・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

〔2008 年年ぎめ予約購読料 20,880 円〕
(全 12 号、配送料弊社負担)

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
奈 良 勲
福 屋 靖 子

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 藤 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
小 塚 慎 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
関 屋 一 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里
渡 辺 典 子